



へきけんニュース

ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/
 メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
 ☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292

日本教育大学協会全国研究集会（岡山大学）において、北海道教育大学関係者がへき地・小規模校教育分科会等で報告!!

令和元年10月5日に開催された日本教育大学協会全国研究集会（於：岡山大学）では、今回からはじめてへき地・小規模校教育分科会が設置され、2会場で開催されました。このへき地・小規模校教育分科会は、全体で15本のへき地・小規模校教育の報告があり、そのうち北海道教育大学からは3本の報告と1本のポスターセッションが行われました。へき地・小規模校教育分科会は、A室、B室ともに20～30人前後の参加者があり、全国的な過疎化・少子化の中で迫りつつある新たな課題として関心が集まりました。



全体シンポジウムで報告する玉井副学長

玉井康之副学長は、全体シンポジウムで北海道教育大学の改革の柱を報告しました。その報告では、全国的な過疎化・小規模校化の中で、「教大協へき地・小規模校教育部門」が大学間ネットワークを作る重要な役割を果たしていることが紹介されました。また、北海道教育大学のへき地・小規模校教育・CBT・教育フィールド研究等の実践を紹介されました。

北海道教育大学からは、このほか全体で26名が参加し、CBT報告・学校臨床研究・教職大学院など、各分科会で多くの報告が行われましたが、ここでは割愛させて頂きたいと思います。

川前あゆみ副センター長は、ポスターセッション「日本におけるへき地・複式・小規模校研究の変遷と論点整理」の発表を行い、戦後以来のへき地・小規模校教育の研究的な論点と今後の研究可能性をまとめて発表されました。

へき地・小規模校教育分科会では、3キャンパスの教員が発表されました。各報告は、以下のとおりです。

- ★ 「へき地校体験実習参加学生へのアンケートから読み取るへき地に対する印象」
旭川校 芳賀 均・田中 和敏
- ★ 極小規模校の複式教育で発生する「指導方法上の特性」の検討
函館校 阿部 二郎・小松 一保
- ★ 「へき地・小規模校と大学の連携のあり方～K小学校への相撲の出前授業の実践から～」
旭川校 小出 高義・釧路校 越川 茂樹



ポスターセッションの様子

それぞれ発表者の感想文が寄せられていますので、以下ご紹介します。

第4分科会 へき地・小規模校教育分科会に参加して

旭川校 へき地・小規模校教育研究センター員 芳賀 均

今年度から立ち上がった「へき地・小規模校教育」の分科会は、発表の本数も多く、初回から2部屋（さらにポスター発表も）を構えての会合となりました。まさに、この場を求めている、という感じの、へき地・小規模校教育に対する心のこもった発表が続きました。

これからの時代に対応していくためのヒントやキーがたくさん含まれているへき地・小規模校教育には、確かに教育の原点があり、本当に教育ということに対して真剣に考えている先生方が集まって来られている印象を強く受けました。私も渴望していた環境だけに、わくわくしながら臨みました。



分科会で発表する
旭川校 芳賀均 センター員

私も若輩ながら発表させていただき（田中和敏・芳賀均「へき地校体験実習参加学生へのアンケートから読み取るへき地に対する印象」）、本学で行っている「へき地校体験実習」を経て、学生のへき地に対する印象がどのように変化したかについて、リアルな調査結果をお話しさせていただきました。へき地校体験実習によって得られる貴重な効果や、さらに効果的な取組にするためのヒントについて確認することができました。この分科会が、もっともっと広まってくると、教育の新しい地平が見えてくるような気がしました。

教大協へき地・小規模校教育分科会に参加・報告した感想

函館校 へき地・小規模校教育研究センター員 小松 一保

日本教育大学協会のへき地・小規模校教育分科会Aで報告させて頂いた。分科会には20人以上の参加者がいて、へき地・小規模校教育にもこれだけ関心を持つ参加者がいることに驚いた。それだけ日本全体の課題となっていることの現れであると感じた。

へき地・小規模校教育の遠隔教育・少人数教育の現状と課題や方法について発表したが、多くの参加者が自分の大学・地域の学校でどのように指導方法をすれば良いか真剣に考えて頂き、今後の対応方法を全国的に考えていく手応えを感じた。

愛媛県西条市で見聞した双方向遠隔教育についても話題提供しているが、双方向遠隔授業では子供同士が隣同士にいるような感覚で交流している姿についても報告させて頂いた。今後極小規模校化が進んだ学校では少人数の議論さえもできなくなる学校も増えていくために、隣の学校と子供たちが交流したり、遠隔で授業を行う方式も不可避の課題となってくる。その様な双方向遠隔のシステム及び活用方法については今後とも議論を深めていかなければならないと感じた。

また現在道徳等が、学年別指導で行われているが、これらをすべて学年別で行わなければならないのか、異学年合同授業など異学年が学び合うこともできるのかどうかを、状況によって判断していかなければならないとの議論もあった。これらのことは北海道においても今後検討していかなければならない課題である。

様々なへき地・小規模校教育の今後の発展的な課題を検討できる大変有意義な機会であった。



分科会で発表する
函館校 小松一保 センター員

へき地・小規模校教育の発表を終えて

旭川校 へき地・小規模校教育研究センター員 小出高義



分科会で発表する
旭川校 小出高義 センター員

「へき地・小規模校と大学の連携のあり方」と題して、釧路町昆布森小学校で実践した相撲の出前授業について発表しました。教大協での「へき地・小規模校教育」分科会が、力強い幕開けとなるべく、私は気概を持って臨みました。発表数は2会場でも収まらない程の盛況ぶりでした。

発表では、実践校の地域性、そこでの秋季神社祭の奉納相撲の意義を提示し、ここに寄せる地域の人々の思いを受け止め、相撲の質を高める出前授業の指導経過を明らかにすることから、大学と地域の連携例を紹介することができました。そこでは、子どもたちの相撲の高まりが、地域理解・地域文化の伝承・郷土愛へと結実していく可能性へと結論付けるに至りました。

終了後、共同研究者の越川茂樹先生（釧路校）に発表の感想を求めたところ、相撲というより、昆布のことしか頭に残っていないと言われました。つまりそれは、聞いて頂いた方々にとって“出汁”と美味の効いた発表であった、と言いたかったのでしょうか。

第68回北海道へき地・複式教育研究大会空知大会が岩見沢市で開催されました。(9月19日-20日)

北海道へき地複式教育研究連盟が主催する全道のへき地複式教育研究大会が9月19日-20日に岩見沢市で開催されました。北海道教育大学各キャンパスからは10名ほどの教員が参加しました。北海道教育大学と北海道へき地複式教育研究連盟は様々な研究開発で連携しており、相互に研究大会やフォーラム等に参加・協力を進めております。研究大会は、全道の実践が持ち寄られるとともに、その実践を広く波及する役割を持ちます。今後ともへき地・小規模校教育研究センターとしては、各キャンパス教員の積極的な参加を期待しております。



大会前夜交流会での真田幸村太鼓の披露された様子。上田市は真田幸村の本陣の地となっています。

第68回全国へき地・小規模校教育研究大会が長野県で開催されました。(10月10日-11日)

全国へき地・小規模校教育研究連盟が主催する全国へき地・小規模校教育研究大会長野大会が10月10日-11日に長野県上田市で開催され、北海道教育大学からも4名が参加しました。長野県は山間部が多く、中山間地にあるへき地校はすでに統廃合も難しく、どんどん小規模校化している様子がうかがえました。全国へき地・小規模校教育研究連盟の提案としては、小規模校だからこそできる教育活動は現代の新しい教育活動になりつつあり、それらを積極面としてとらえてへき地・小規模校教育活動の良さを普及していくという方針が確認されました。

**札幌校 田口 哲 キャンパス長、旭川校 千葉 胤久 キャンパス長、
函館校 五十嵐 靖夫 キャンパス長 に、へき研センター運営協力委員を
御願いました。**

釧路校 浅利 祐一 キャンパス長に運営委員を御願いました。

現在へき地・小規模校教育研究センターと各キャンパスとの連携を強化して、各キャンパスにおけるへき地校体験実習をはじめ、へき地・小規模校教育研究活動・教育活動を強化しています。そのため、本センターと各キャンパスとの連携を強めるために、教員養成の専攻を有する札幌・旭川・函館の各キャンパス長には、へき地・小規模校教育研究センターの運営協力委員として、就任いただくことになりました。

札幌校の田口 哲キャンパス長、旭川校の千葉 胤久キャンパス長、函館校の五十嵐 靖夫キャンパス長には、運営協力委員として、釧路校の浅利 祐一キャンパス長には、事務局のあるキャンパスとして、運営委員にそれぞれ就任いただいております。

運営委員会及び運営協力委員就任に伴い、各キャンパスにおけるへき地校体験実習をいっそう充実させ、フォーラムの実施や国際協力事業等の受け入れなど、へき地・小規模校教育研究・教育活動を各キャンパスと共に推進していきたいと存じます。どうぞよろしく御願いたします。



**札幌校
田口 哲 キャンパス長**



**旭川校
千葉 胤久 キャンパス長**



**函館校
五十嵐 靖夫 キャンパス長**



**釧路校
浅利 祐一 キャンパス長**

